

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2549 号

Risk factors for progressing to severe COVID-19 among people living with HIV in Japan:
A hospital claims database study

日本における HIV 感染者の COVID-19 重症化リスク因子：レセプトデータベースの解析

金澤 晶雄 (かなざわ あきお)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、日本における HIV 感染者の COVID-19 重症化に関連するリスク因子について、レセプトデータベースを用いて解析した後方視的研究である。年齢 ($p=0.002$)、高血圧 ($p=0.032$) が重症/死亡例、梅毒 ($p=0.005$) が非重症例と有意に関連していた。一方、AIDS や AIDS 関連疾患では COVID-19 の重症/死亡との関連は示されなかった。

【新規性、創造性】 日本での HIV 感染者の COVID-19 の転帰やリスク因子について検討した先行報告は限定的である。本研究では併存疾患や治療などの臨床情報も含めた大規模なデータを用いた解析を実施している。

【方法・研究倫理】 本研究は、DPC を導入している日本の急性期病院から抽出されたレセプトデータを解析したものである。2020 年 1 月から 2021 年 12 月にかけて抗ウイルス療法を受けている HIV 感染者 4672 人のうち COVID-19 で入院となった 85 人を対象とし、重症度（軽度/中等症と重度/死亡）と患者背景や併存疾患等との関連が単変量解析で分析されている。

【学術的意義】 本邦では検討が不十分であった HIV 感染者の COVID-19 重症化因子について明らかにした。COVID-19 の重症化因子が明らかになることで、早期の予防的な抗ウイルス薬や経過観察目的の入院適応をよりの確に判断することが可能となる。

【考察・今後の発展】 本研究はレセプトコードを用いたデータベース研究であり、実際の臨床状況との齟齬が存在する可能性がある。また、データの蓄積により多変量解析を実施することが望ましい。今後、HIV の臨床状況を評価する因子、ワクチン接種の有無や最新の治療・重症化予防薬の使用歴等を含めた解析によってさらなる発展が期待される。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。